

持続可能な財政基盤の確立に向けて

# 九重町の当初予算

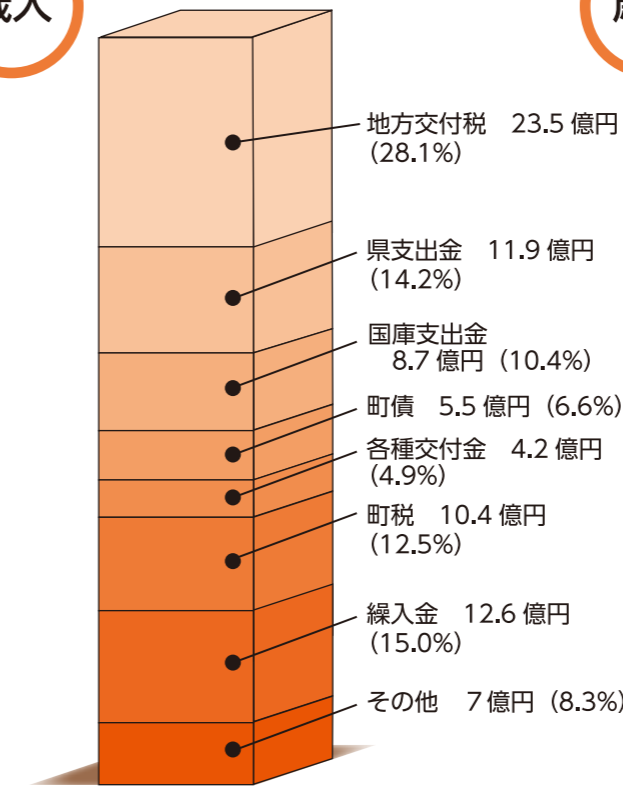
令和3年度は、昨年の7月豪雨災害により被災した箇所の復旧事業（予算額：4億5,628万円）や継続事業の2年目である防災行政無線デジタル化整備事業（予算額：2億848万円）、新型コロナウイルスワクチン接種関連事業（予算額：7,562万円）等により、対前年度比4億900万円増（+5.1%）の予算となりました。本年度は何といても、令和2年7月豪雨災害からの早期復旧を最優先とし、緊急性のあるものを除き、事業を抑制しながら組み立てています。また、コロナ禍において社会経済活動と感染防止対策の両立を図るべく、ワクチン接種や感染防止、産業への支援などの予算を計上しています。今後も、各種事業の進捗状況を踏まえた評価・検証・見える化を段階的に実施しながら、財政の弾力性を維持しつつ、持続可能な財政基盤の確立を目指します。

一般会計の内訳

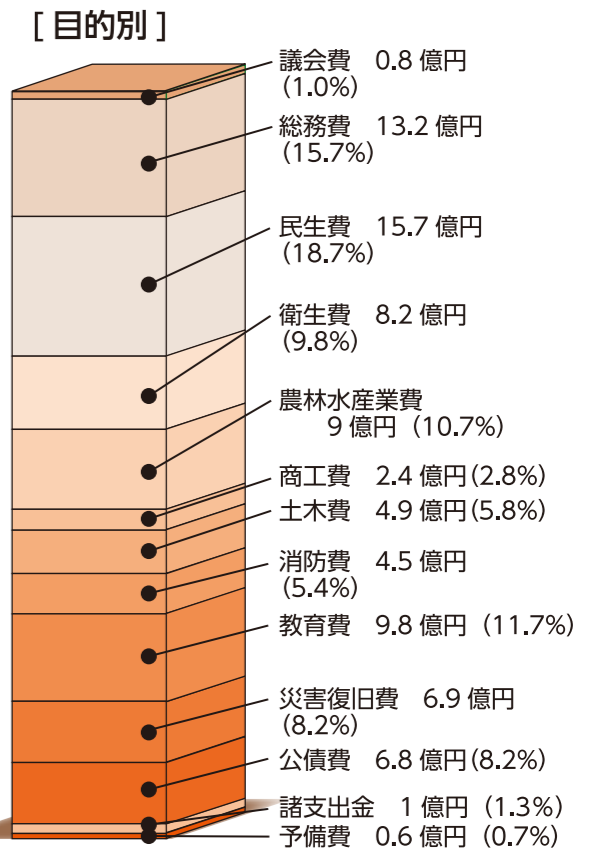
**83億8,300万円**

(令和2年度対比  
4億900万円増 [+5.1%])

歳入



歳出



特別会計

**32億677万円**

特別会計は、特定の収入をもって特定の事業を行うため、一般会計と区別して事業を行うもので、独立採算が原則です。5会計総額で、約32億677万円のうち、最も多いのは、介護保険事業で、14.61億円（45.6%）。次いで、国民健康保険事業の14.14億円（44.1%）となっています。

区分	予算額	対前年度比
国民健康保険	14億1,412万円	▲3.1%
水道	1億1,805万円	▲49.3%
飯田高原診療所	7,200万円	5.6%
介護保険	14億6,161万円	▲0.1%
後期高齢者医療	1億4,099万円	0.2%

町民1人あたりに使われているお金

合計**92万3,238円**

<b>議会費</b> 9,171円 町議会の運営のための経費	<b>総務費</b> 14万4,965円 役場の全般的な事務の経費、ケーブルテレビの経費	<b>民生費</b> 17万2,428円 高齢者や障がい福祉、子育て支援等のための経費	<b>衛生費</b> 9万786円 保健衛生や疾病予防、ゴミ・し尿処理のための経費
<b>農林水産業費</b> 9万9,072円 農業、林業、畜産業の振興のための経費	<b>商工費</b> 2万6,065円 商工や観光の振興、大吊橋運営のための経費	<b>土木費</b> 5万3,794円 道路の改良・維持管理や町営住宅改修のための経費	<b>消防費</b> 4万9,410円 消防団活動や広域消防の負担金等の経費
<b>教育費</b> 10万8,474円 学校教育や社会教育、スポーツや文化活動のための経費	<b>災害復旧費</b> 7万5,939円 災害復旧のための経費	<b>公債費</b> 7万5,334円 町の借金を返済するための経費	<b>諸支出金・その他</b> 1万7,800円 預金への積立や予備費等

九重町人口（R3年2月末日時点）9,080人で計算



財政構造をわかりやすくするため、町の財政状況を家庭の家計簿に置き換えてみます。九重太郎さん家の1年間の総収入を実家からの援助や銀行からの借金などを含めて、552万円\*として、その内容を見ていきましょう。

(\*令和元年度国民生活基礎調査より、1世帯あたりの平均所得)



九重町の総収入		九重太郎さん家の総収入	
町税や譲与税など	14.6億円	給料や配偶者のパート収入	143万円 25.9%
使用料や諸収入など	7.0億円	農業収入など	
地方交付税	23.5億円	実家からの援助金	290万円 52.5%
国・県支出金	20.6億円	銀行等からの借金	36万円 6.5%
地方債	5.5億円	預金の取り崩し	83万円 15.1%
繰入金	12.6億円		

九重町の総支出		九重太郎さん家の総支出	
人件費・物件費・補助費	40.4億円	生活費や教育費、税金など	266万円 48.2%
扶助費	5.1億円	医療費	34万円 6.2%
公債費	6.8億円	ローンの返済金	45万円 8.2%
投資的経費	24.5億円	車の購入や家の増改築	162万円 29.3%
繰出金	4.5億円	子どもへの仕送り金	29万円 5.2%
積立金など	2.5億円	預金や予備的なもの	16万円 2.9%

恒常的な収入は、年間143万円、総収入の25.9%です。九重町のような小規模市町村の収入構造は、おおむねこのような形が多くみられます。九重太郎さん家は、今年、車の購入を予定しているため、その財源を預金の取壊しと借金で賄います。実家からの援助金は、医療費や家の増改築など使い道が定められています。